

## 中野武登：日本藻類学会第21回大会（東広島）を振り返って

日本藻類学会第21回大会は、1997年3月27、28日の2日間、東広島市にある広島大学理学部で開催された。東広島市は、広島市から東方へ約40 Km離れているため、参加される会員の方々の交通の便や宿泊設備のことを考えて、最初は、広島市内で会場を借りて開催しようと準備委員会のメンバーで情報集めを行った。しかし、会場借用の経費もさることながら、大会当日の会場設営、アルバイト学生の方々の東広島市からの移動が困難であること、また大会運営の際に発生するトラブルに即座に対応できるか否かなど、様々な条件を考慮して広島大学理学部で開催することになった。それと共に、広島大学は、バブル崩壊後の統合移転となり、長い年月をかけてやっと1997年3月で、予定されていた移転が完了したこともあって、東広島キャンパスの様子も皆様に見て頂きたいという気持ちもあった。そのために、参加された皆様には、交通や宿舎の面で、ご迷惑をお掛けしたことをお詫びしたい。また、講演会場などが、理学部の講義室の配置の関係上、かなり散在しており、それぞれの会場を、探されるのに苦労をおかけしたことと思う。

これまでの大会でも開催された例があったが、今回も、大会の初日の午前中を一般公開のシンポジウムとした。これは、社会に開かれた大学としての使命を念頭において、一般の方々にも、藻類を身近なもの、大切なものとして認識してもらうことを目的とした。タイトルは、「地球環境と藻類」とし、5名の先生方に話題提供をお願いした。お一人の持ち時間が少なく、充分なお話ができず不満足であったと反省しているが、



公開シンポジウム

一般の方々の参加も意外と多く、会場には、150～160名の聴衆で埋まり、一応成功であったと考える。一般の参加者から、「これまで藻類には、あまり興味がなかったけど、地球にとっては大切なものですね」という声も聞かれた。



研究発表会場にて

講演数は、27日の午後と28日の午前・午後、それぞれ2会場に分散して丁度良い数が申し込まれた。大会参加申し込みは、締切日まで100人程度であったが、予想外に当日参加が多く、結局178名の参加者となった。諸々の不便さの場所での大会としては、多数の皆様が参加された。不便さもかえりみず参加頂いた皆様に感謝したい。今回の大会では、外国の研究者が9名参加されたと共に若手の研究者の方々が多く参加され、藻類学における先端的な発表をされたことも、今後の藻類学会の発展にとって喜ばしいことである。今後の大会では、先端的な研究と共に過去の学問と考えられがちな、地道な分類学や形態学などの研究も多数発表されることを望む。特に若い研究者に、このような分野の研究をされる方が少しでも多くなることを期待したい。

懇親会は、東広島市にある、結婚式場を会場として、立席パーティ形式で行った。充分広い部屋を予約しておいたので、それほど混み合うこともなくゆっくり歓談して頂けたと思う。懇親会では、石川依久子学会長の挨拶のあと、以前から藻類学会の会員として活躍され、現在、広島県立広島女子大学学長の今堀宏三先生、東広島市長、教育長にお出で頂き、それぞれの立場からお話を頂いた。今堀学長は、若い頃の広島での研究



懇親会でのひとこま

の思いで話しなど、市長と教育長は、環境問題についてそれぞれ藻類によせる期待を話された。また、広島大学の理学部長は、都合で欠席されたが、藻類学会開催に寄せたメッセージを頂き披露した。

その後、東広島市は、以前西条町と呼ばれていて、灘と並ぶ酒都であるので、西条のみならず日本全国でも有名な「賀茂鶴」で鏡開きを行い、藻類学会の長老である加崎英男先生の音頭で乾杯をして、宴となった。懇親会を企画するにあたり、いつも気になるのが、料理と飲み物の量であるが、皆さんお互いの話しに花が咲いたのか、料理も飲み物も余り気味になり、企画し

た者としては安堵した。来年の下田臨海実験所での再会を誓い、吉田忠生先生の閉会の乾杯で懇親会の幕を閉じた。

会期中に、科学機器の展示や書籍の注文販売、絵葉書やCDの藻類写真集、オリジナルTシャツなどの展示販売を行ったが、人気のあった物もあり、あまり注目されない物もあり様々であった。絵葉書などは、すでにこれまでの大会でも展示販売されており、可能であれば、新しい企画のものが作成されると注目を集めるのではないかと思った。また、高価な書籍などは、注文したいが、今年の予算では無理があるので断念された企業や官庁関係の方々の声が多かった。このようなことを考えると、展示は毎年継続していくと良いと思う。

東広島大会は、大学当局の理解と学生諸君の協力により、比較的スムーズに運営でき感謝している。公開シンポジウムに後援を頂いた諸機関、運営経費の点でご援助頂いた方々に厚くお礼申し上げる。なお、大会運営経費は健全会計であったことを報告する。

最初にも記したが、不便な田舎での学会に多数の方が参加され、準備委員会として厚くお礼申し上げたい。

(広島大学理学部 〒739 東広島市鏡山 1-3-1)